

# この子らと

令和5年2月号

## 命輝く子ども

わくわく鹿児島中央認定こども園



雪だるま



園長 川口公男

### 2月は、「光の春」



2月4日は、立春です。暦の上では春を迎えています  
が朝晩の冷え込みは依然として厳しいです。

風は冷風、しかし、晴れた日にはきらきらと太陽の光が  
輝き、その光のあたたかさに春を感じる時があります。

春の到来を太陽の光の中に感じる2月は「光の春」と  
呼ばれています。

「光の春」は、極寒のロシアで使われている言葉であり  
まして、「光の春」には春を強く待ちわびるロシアの人々の  
強い思いを感じることができます。

また、雪解けの音、川の音、鳥の鳴き声などで春の  
到来を告げるのは「音の春」と言われています。

いずれにしても美しい言葉です。

晴れた日には、「陽光」を浴びて、散策するのも心  
躍るものです。

### 雪と遊ぶ子どもたち



1月25日は、大雪により、交通が混乱したり、開園  
が遅れたりすると大人にとっては、少し迷惑な積雪だっ  
たかと思います。

子どもたちにとっては、心躍る雪景色であり積雪  
であったようです。



「いくたびも 雪の深さを たずね  
けり」(正岡子規)

### 節分について

「節分」は、新しい年を元気で幸せに過ごせるよう  
と願いを込める日です。病気・けが等悪いことが起  
きないように「鬼は外」「福は内」と言いながら北東  
の方向に向かって豆をまきます。

“鬼は、豆が大嫌いだそうです。”

“鬼は「トラ柄のパンツ」をはい

て「つの」がはえているのはなぜ?!



- 鬼が、どこにいて、どの方角からやってくるの  
かに関係あります。鬼は、鬼門「北東」の方角  
から出入りしています。そして、北東とは、丑(う  
し)・寅(寅)の方角です。

- 鬼の姿は、うしの「つの」とどら  
の縞縞模様をイメージしており、  
つのをはやし、しましま模様  
のパンツをはいています。



「豆をまく 母から本気で 逃げる父」  
「豆まきの 鬼も来ている 朝ごはん」

### 行為(形)は、「心」をつくります

「シートベルトをする(行為)のは、なぜですか」と聞  
きますとほとんどの人が『自分の命を守るため  
です。』と答えます。「シートベルトをするという行為が  
『安全に運転する』という心をつくります。

本園の子どもたちは、とてもあいさつができると思  
っています。わたしも多くの小学校・幼稚園・保育  
園の子どもたちと接してきましたが、他のどこよりも  
子どもたちの「あいさつ」ができるように思います。

「あいさつをする」という一つの行為が本園の子  
どもたちに「思いやり」の心を培っていると思  
います。「華道・茶道等」では、「形の後ろに心が見える」と  
言われています。

挨拶をする子どもの姿に  
思いやりの心が見えます。

